（一社）防府薬剤師会だより

清流

第132号
2017.1.1

防府天満宮　撮影　松浦　紘明

目次

新年のご挨拶　（（一社）防府薬剤師会会長　松浦　紘明）・・・・・・・・・・・・　1
気ままトーク　（新くわのやま薬局　安田彩乃）・・・・・・・・・・・・　2
山口健康福祉センターからのお知らせ・・・・・・・・・・・・　3
定例理事会報告・・・・・・・・・・・・　4
職場紹介　（えびす薬局新田店　田中　崇弘）・・・・・・・・・・・・　6
服薬指導の実例　（フタミ薬局　小方　悠司）・・・・・・・・・・・・　7
こんにち和・・・・・・・・・・・・　8
会員の動き・・・・・・・・・・・・　8
生涯教育・・・・・・・・・・・・　9
秋のゴルフコンペ報告・・・・・・・・・・・・　11
防府健康フォーラム 2016 に参加して
　（山口県立総合医療センター　安村　美紀）・・・・・・・・・・・・　12
学校薬剤師の地域活動
　（防府学校薬剤師委員会委員長　　山内　裕之）・・・・・・・・・・・・　13

編集後記・・・・・・・・・・・・　14

― *新年のご挨拶* ―

(一社)防府薬剤師会会長　松浦　紘明

新年おめでとうございます。 会員の皆様におかれましては新しい年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月末会長に就任して以来早7か月が経ちました。その間数々の行事等でバタバタとしてきましたが、新年を迎えるに当たり改めて会のため頑張りたいと気持ちを引き締めている所であります。

昨年の調剤報酬改定により、「かかりつけ薬剤師・薬局」の報酬が新設され、より一層薬局と薬剤師の質の向上が求められています。そこで、まず防府薬剤師会会員全ての薬局薬剤師がかかりつけ薬剤師になる事を目標としています。そしてその中から、地域住民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する機能を備えた薬局である「健康サポート薬局」にステップアップして頂けるよう、研修会の開催など会として支援していきたいと思っています。

また、在宅など地域に密着した医療・介護を進めていくには他職種との連携は欠かせません。皆様ご存知のように防府地域は「ほうふ健康フォーラム」開催に代表される様に三師会の交流が活発に行われており、またケアマネージャーや介護職員、地域包括支援センター等行政との交流も在宅推進委員会を中心に進めています。これにより他職種の方々の薬剤師への理解も以前より深まっており、地域連携の環境は整って来ています。まだ在宅を行っていない薬局の先生方も、今年はまず一件からでも始めてみてはいかがでしょうか。

本年は来年度の調剤報酬改定に向けての準備の年となります。次回改定では我々にとってさらにきびしい内容になることが予想されます。それまでに「かかりつけ機能」を充実させ、「健康サポート薬局」へスムーズに移行できるよう、そして地域住民や他の医療関係者からより信頼される薬剤師・薬局になれるよう会員の皆様とともに取組んで参ります。また、毎年増加する医療費を少しでも抑えるためにジェネリック医薬品の使用を推進するとともに、残薬やポリファーマシー対策にも積極的に関わっていきましょう。

最後に、本年が皆様方にとって良い年となりますようお祈りいたしますとともに、防府薬剤師会の事業により一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

― 気ままトーク ―

「山口ぶらり旅」

新くわのやま薬局　安田　彩乃

2年前、京都から地元の山口に戻ってまいりました。長年ペーパードライバーでしたが、車を購入し只今練習中です。

インドア派の私は、恥ずかしながら地元山口のことをよく知りません。車を持ったことで活動範囲が広がり、時々リフレッシュのため外に出てみようかと思うようになりました。昨年は、錦帯橋、秋芳洞、湯田温泉に車で行きました。

有名な錦帯橋ですが、実は行ったのが今回初めてです。木の温かみが感じられる木造のアーチ状の橋は、とても綺麗でした。釘を一本も使っておらず、組み立てられていることに驚きです。

橋を渡った所に「岩国石人形資料館」がありました。「珍しくおもしろい名産　石人形」という看板に惹かれ中に入ってみると、小さな石でできた人形が置かれていました。錦川に生息するニンギョウトビケラという水中昆虫が、川底の小石や砂を集めて作った巣で、仏像や人形に似ていることから錦帯橋土産として売られているそうです。災害や事故から人や家を守ってくれるとのことでした。皆さん、ご存知でしたか？

夏の暑い時期には、国の特別天然記念物に指定されている秋芳洞に行きました。

秋吉台の地下には400を超える数の鍾乳洞があるそうです。洞窟の中はとても涼しく、自然が織り成す美しさ、凄さに圧倒されました。中は約1キロあり往復だと2キロ。日頃運動をしない私にとっては、いい運動になりました。通年約17℃の洞窟内は夏の観光にとてもお勧めです。今回は行かなかった秋吉台にある他の洞窟(大正洞、景清洞)にも行ってみたいと思っています。

先日は、湯田温泉の足湯めぐりをしました。町の中に6か所の無料で利用できる足湯があります。アルカリ性単純温泉で、湯田温泉観光案内所前には「飲泉場」があり飲むこともできるそうです。

子供からお年寄りまで幅広い年代の方がいらっしゃいました。誰もが気軽に利用でき集まった人同士、会話を楽しみながら湯に浸かることが出来る憩いの場だと感じました。身体だけでなく心までほっこりし、日頃の疲れをとることができました。

まだまだ知らない山口の良い所、美味しい物を求め、色々巡ってみようと思います。休日に疲れをリセットし、これからも仕事を全力で頑張ります。

山口健康福祉センターからのお知らせ

1　取扱処方箋数届及び薬局機能情報報告（定期）の提出について

医薬品、医療機器等法により、薬局開設者には取扱処方箋数届及び薬局機能情報報告の提出が義務付けられています。届出・報告書の様式は、山口県薬務課のウェブからダウンロードできます。詳細は下記 URL をご確認ください。

・取扱処方箋数届：平成 28 年の取扱状況を平成 29 年 3 月 31 日までに提出。
（http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15400/sinseisho/a-7.html）

・薬局機能情報報告（定期）：平成 29 年 4 月 1 日現在の状況を平成 29 年 4 月 15 日までに提出。（http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15400/yakuzi/kinojoho1. html）

2　ジェネリック医薬品勉強会について

ジェネリック医薬品の使用促進を目的に、使用が進まない分野の医薬品の具体的な審査等の講演を中心とした勉強会が開催されます。詳細は YP ジャーナルをご確認ください。

日時：平成 29 年 1 月 22 日（日）13：00～16：00
場所：山口県 JA ビル（山口市小郡下郷 2139）
対象：医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師　等）約 200 名
講師：明治薬科大学名誉教授　緒方宏泰
（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）審査役　高木和則

3　毒薬及び劇薬の表示について

毒薬及び劇薬の表示については、医薬品、医療機器等法で定められています。毒薬は、直接の容器又は被包に黒地に白枠、白字でその品名及び「毒」の文字、劇薬は、直接の容器又は被包に白地に赤枠、赤字でその品名及び「劇」の文字を記載しなければなりません。適切な医薬品の管理をされるよう以下にご注意ください。

例①　劇薬を包装箱から取り出して棚等に保管する場合、その棚が直接の容器
例②　全自動分包機のカセットに劇薬を入れた場合、そのカセットが直接の容器
例③　薬局間譲渡の場合、譲渡する薬を入れる袋

4　「はたちの献血」キャンペーン実施について

防府地区では、以下の日程で実施予定です。ご協力をお願いします。

日時：平成 29 年 2 月 26 日（日）
場所：イオンタウン防府
受付：10：00～12：00、13：15～16：00

― 定例理事会報告 ―

平成 28 年度　第 5 回　定例理事会
開催日時　：平成 28 年 8 月 2 日(火)19:36～21:18
開催場所　：防府薬剤師会館
出席理事　：松浦、三堀、椎木、原田、白野、舟谷、吉岡、越智、山内、松井
出席監事　：渡
議　題
【協議事項】
1.新規入会者：椎木副会長・出席理事全員賛成。入会承認
2.納涼会について：松井委員長・開催日：9/10（土）18：00～21：00　雨天決行・飲食は移動販売車で対応する。・イベント：マジックショー、抽選会、子供向けコーナー　確認事項：食中毒発生時の対応について業者へ確認のこと。
【報告事項】
1.7 月の退会者
2.柏木幸助「本」寄贈について　防府市市制 80 周年記念として寄贈の相談を行ったが、防府市市民便利帳への写真掲載のみで他に計画なし。
関連事項・その他
1.県薬関係・越智理事（県薬理事）：県薬の組織図について説明・舟谷理事：10/15、薬歴講習会開催、今回懇親会があり、理事は参加のこと。
2.会営薬局関係　月次業績：吉岡管理薬剤師・7 月実績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。・9 月、実習生 1 名受入。
3.その他　災害対策委員：舟谷理事・緊急連絡網、未提出は 5 薬局。
委員会活動
1.保険薬局委員会：舟谷委員長 8 月、協議会開催なし。次回開催日平成 28 年 9 月 13 日（火）
2.生涯学習委員会：三堀委員長・研修会開催日程について説明。
3.広報委員会：白野委員長・総会号 130 号を発行。国会図書館へ清流寄贈
4.学校薬剤師委員会：山内委員長・プール水質検査、8/6 実施(薬剤師会館 7：40～)
5.在宅医療推進委員会：越智委員長・在宅医療薬学会（7/16,17,18）でポスター発表、雑誌等に記事の掲載を予定。
6.小委員会・チーム　休日診療所：椎木担当理事　資料により説明。
7.その他椎木副会長：防薬ゴルフコンペ 9/23（木）開催予定。三堀副会長：10/18 健康フォーラム打合せ。

平成 28 年度　第 6 回　定例理事会
開催日時　：平成 28 年 9 月 1 日(木)19:35～21:10
開催場所　：防府薬剤師会館
出席理事　：松浦、三堀、椎木、白野、原田、舟谷、吉岡、越智、山内、松井
出席監事　：渡
オブザーバー：永田事務長
議　題
【協議事項】
1.納涼会最終確認：松井委員長:中止の場合、前日昼までに会長が決定し周知する。食中毒の対応：業者保険加入済み。消防：手続完了。業者設営 3 時～、会場設営 4 時～、受付 17：30～、18 時開始、21 時終了。
2.防府健康フォーラムについて：三堀副会長:健康相談員：白野先生。開会挨拶：松浦会長、閉会挨拶：杉山歯科医師会会長、共同宣言：神徳医師会会長　血液検査の予行演習、10/8（土）・10/13（木）。
3.新規入会者　出席理事全員賛成
【報告事項】
1.8 月の退会者：なし
2.山口コアカレッジより:防府市内で来年度 9 名が卒業予定で、求人依頼あり。
3.12 月の講師派遣について（華浦公民館からの依頼）そうごう薬局三田尻店で対応。
関連事項・その他
１.県薬関係①松浦会長:8/18 開催の地域職域協議会の報告・熊本地震の義援金合計：￥2,551,000・卸への返品について：公取からの指導があり卸から文書で連絡がある（卸での大量廃棄が問題となっている）。②越智理事（県薬理事）・山口東京理科大 9/25 オープンセミナー開催・セルフメディケーション税制、来年 1 月 1 日よりスタートする。対象医薬品のパッケージやレシート等に記載する事項について事前準備が必要。ＹＰジャーナルに掲載、確認のこと。③舟谷理事・基準調剤加算を取得している薬局のお盆休みは臨時休業で対応できる。(休日の届出は不可)また、毎週木曜日の午後を臨時休業している薬局がある。・管理薬剤師の学校薬剤師や休日診療に関する業務は、兼務許可届提出が必要。管理薬剤師の変更等を考慮し、年 1 回の申請を励行してほしい。・薬剤師の臨床判断と一般医薬品適正使用研修事業の終了により、今回の薬歴講習会時の OTC 講演会はない。・薬局在庫検索システムについて、防府 53 薬局中 47 薬局が登録済。今後、返品等が厳しくなるので有効活用すること。提出していない薬局は、登録手続きを行って下さい。
２.保健所・保健センター・その他行政関係・松浦会長：「健やかほうふ 21」の会議報告・舟谷理事：緊急連絡網の整備完了。最終確認のためメール配信予定。
３.会営薬局関係　月次業績：吉岡管理薬剤師・8 月実績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。・9/5 より実習生 1 名受入。指導は吉岡先生

主体で実施。
委員会活動
1.保険薬局委員会：舟谷委員長 9/13 に協議会開催。次回開催日は平成 28 年 10 月 11 日（火）。
2.生涯学習委員会：三堀委員長・研修会開催日程について説明。
3.広報委員会：白野委員長・清流 131 号を 9 月末発行。
4.学校薬剤師委員会：山内委員長・8 月のプール水質検査を薬剤師会館で実施。特に問題なく今後会館での実施を検討したい。
5.在宅医療推進委員会：越智委員長・10/26.他職種連携ワークショップを開催。・12/15.県薬の地域医療・保健委員会主催の研修会として、ボディメカニクス研修会を開催
6.小委員会・チーム
①休日診療所：椎木担当理事　資料により説明。

平成 28 年度　第 7 回　定例理事会

開催日時　：平成 28 年 10 月 6 日(木)19:37～21:20
開催場所　：防府薬剤師会館
出席理事　：松浦、三堀、椎木、白野、原田、舟谷、吉岡、越智、山内、松井
出席監事　：渡
オブザーバー：永田事務長
議　題
【協議事項】
1.防府健康フォーラムについて：三堀副会長・開催日：10/23　デザインプラザ HOFU・配布用パンフレットとして「薬の知識」・「かかりつけ薬剤師」・「かかりつけ薬局」各 500 部準備・スタッフ募集の案内を 10/3、会員宛て連絡。10/10 までに回答をお願いする。・血液検査の実習、10/8（土）・10/13（木）。質問事項・スタッフ募集状況：10/6 現在、21 名・配置図：徴求しだい連絡する
2.ジェネリック医薬品の使用促進に関する地域意見交換会の開催について：松浦会長・県薬から依頼、依頼文書にて内容を説明。確認事項・当会の担当者について椎木副会長を選定。(三役での対応が望ましい)・基幹病院について病院はどこまで案内を行うか。県立総合医療センターのみとする。
3.新規入会者：椎木副会長・出席理事全員賛成で承認。
4.納涼会、意見交換：松井委員長・参加者：194 名・予算内で実施。また、外部委託であったため、会場設営、後片付け等の負担軽減が図れた。反省点・食数が不足、注文の待ち時間が長かった。・ジュース関係が不足。・テーブル・椅子が不足。・ゴミ箱の設置場所の検討。(照明が不足していた)
5.県立総合医療センターの FAX 機交換について：椎木副会長・機種は古く保守契約もないことから、交換を検討する。見積書金額で承認。
6.会館入口のウッドデッキ腐食による補修工事について：事務局・費用は家主負担、補修に伴い入口の一部をスロープとすることは可能で検討したい。スロープ対応は承認（図面等詳細を確認する。）・確認事項として、補修範囲、傾斜角度、既存スロープとの関係等詳細について。
【報告事項】
1.8 月の退会者：事務局
2.薬歴講習会：事務局・出席薬局 45 薬局（防府 53 薬局）　昨年度は 43 薬局。
関連事項・その他
1 県薬関係①越智理事（県薬理事）・2019 年度日薬学術大会、下関で開催。・九山大会、次回開催地、宮崎県がアピール出来ず、11/20 開催の県薬フォーラムに参加する。・県薬ホームページの、求人・職業紹介をリニューアルした。・「薬の相談室」事業廃止に伴い、冊子・県薬の、薬の相談室も中止。・今年度、県からの委託事業として「在宅訪問薬局相談窓口」の開設があり、県薬が対応する。・山口コアカレッジから、来年の医療事務研修受入の依頼。
②舟谷理事（保険薬局部会）・資料配布済であるが、個別指導で、電子薬歴において薬歴を印字するパターンは二通りあるが、今後は更新日時が記載された印字のあるものになる予定。日頃から薬歴を抜けなく記載すること。
2 保健所・保健センター・その他行政関係・舟谷理事：緊急連絡網の整備完了。最終確認のためメール配信予定で案内文書を次回理事会で報告。
3.会営薬局関係　月次業績：吉岡管理薬剤師・9 月実績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。
委員会活動
1.保険薬局委員会：舟谷委員長 10/11、協議会開催。今月、来月は研修シールあり。次回開催日：平成 28 年 11 月 8 日（火）。
2.生涯学習委員会：三堀委員長・研修会開催日程について説明。
3.広報委員会：**白野委員長**・清流 131 号を 10/1 発送。・清流を国立図書館へ寄贈済。（今年度号から）・各薬局の営業時間、会員名等の把握は出来ているか確認。（事務局で把握、確認済）
4.学校薬剤師委員会：山内委員長・10/27、学校保健研修会で松浦泰子先生が講演を行う。
5.在宅医療推進委員会：越智委員長・10/26.他職種連携ワークショップを開催
県薬主催の研修会・12/15.ボディメカニクス研修会を開催　講師：サンキウエルビィ　スエドミ様・フィジカルアセスメント研修会 1 月の開催予定、定員を設定する。
6.小委員会・チーム
①休日診療所：椎木担当理事資料により説明。
7.その他：椎木副会長防薬親睦ゴルフ大会、参加者 8 名。

― 職場紹介 ―

えびす薬局新田店　田中　崇弘

平成１１年に、はやしだ眼科の隣に開局して１７年が経ちました。今回３回目の職場紹介になります。薬局も眼科も通りに面していない上に、看板も出ていないため、１７年たっても場所がわからないといわれることもあります。一応場所を紹介します。住所は薬局の名前どおり新田。同じ敷地内に眼科、東山口信用金庫などがあり、駐車場が共用となっています。道路隔てた反対側に、中華そば今里があります。人気店で開店前から行列ができていることも。食べログで山口ラーメンランキング１位（平成２８年１１月現在）なだけはあります。背脂の浮いた尾道ラーメン風で大好きなのですが、まだ一度しか行ったことがありません。カウンター席しかない狭いお店で・・・おっと、話がそれてる。

閑話休題。当薬局はビルの１階にテナントとして入っています。が、そのビルが古く、薬局内の壁に亀裂が走っています。地震が来たら倒壊するのでは？と心配しながら業務しています。薬局自体とても狭く、待合室は５～６人も入ればかなり圧迫感があります。市内の眼科医院がここ数年で減ったせいか、眼科での待ち時間がかなり長く、薬局で不満を言われる方もしばしば。なので、なるべくお待たせしないよう心掛けています。

スタッフは、午前は薬剤師２～３人（内パート２人）事務１人、午後は薬剤師１人（たまに２人）事務１人という体制です。隣が眼科なので、処方は目薬が中心です。ご高齢の方から生まれたての赤ちゃんまで、老若男女問わず来られます。花粉症シーズンから夏が比較的忙しく、午後から薬剤師１人ではなかなかしんどいです。そんな時に在庫のない処方箋が来ると、軽いパニックになります。（見た目は平常心を装ってますが・・・笑）人的余裕が欲しいです。

近隣の薬局様に薬の小分けをお願いすることも多々あります。きっと、ご迷惑をかけていることでしょう。この場を借りて、お詫びと感謝を述べさせてください。そして、今年もよろしくお願いします。

― 服薬指導の実例 ―

フタミ薬局　小方　悠司

皆様こんにちは。フタミ薬局の小方です。

当薬局は県総（山口県立総合医療センター）前という立地なので、メインは県総からの患者様ですが、他の病院であったり、性別・年齢層もバラバラで、「〇〇科からの処方箋が多い」ということはありません。そのため今回は私が時に印象に残った服薬指導をいくつかご紹介したいと思います。

まず糖尿病患者様への服薬指導です。検査値は異常であっても、自覚症状が乏しいことが多いことや、薬の種類や服用時点の異なるものが多いので混乱されている方がいらっしゃいます。薬の作用・副作用のことはもちろんのこと、服用方法の間違いや飲み忘れを防ぐため、百円ショップ等にあるポケット付きのカレンダーに入れることを提案したりしました。又、糖尿病は日頃の食生活や適度な運動も重要ですし、低血糖症状の際の対処法なども合わせて伝えることも心掛けています。

次に高齢者患者様への服薬指導です。加齢による生理機能の低下や、複数の疾患により多くの薬を服用されております。指導時ゆっくり説明することは当然のこと、ただ口頭だけでなく、実際に薬を見てもらったり、例えば吸入薬であれば使い方も含め複数回説明して理解してもらえるようにしています。また説明が一方的になりすぎないように、説明が終わった後に患者様とお話しして疑問に思われたことはなかったかの確認もしています。

それから、副作用についてですが、全ての副作用を伝えると薬を飲まれない患者様もおられるため、全てを伝えるのではなく起こりやすい初期症状を中心に伝え（小児や高齢者患者様の場合はご家族にも伝える）、服用後しばらくは自身の体調に異常がないか様子見をしてもらい、万が一何かあれば連絡をしていただくようにお伝えするなど、副作用の早期発見出来るような配慮をしています。

当薬局は最初に書いた通り様々な患者様が来局されます。患者様は不安を抱えて来られる方も多いので、その方に合った指導やコミュニケーションを常に意識しています。言われてみれば当たり前のことですが、私が思っているほどスムーズに事が運ばないので、当たり前のことがとても難しいと思います。

薬剤師にとって服薬指導は重要な業務ですが、それにウェートを置くだけでなく、患者様に寄り添って患者様の気持ちを第一に考えることのできる薬剤師でありたいです。

まだまだ未熟ですが、今後も初心の気持ちを忘れず、日々精進していこうと思います。

― こんにち和 ―

ふりがな　よしき　みか
氏名:芳樹　美香

血液型:A 型
出身大学:福山大学
（平成 19 年度卒）

勤め先:
一般財団法人　防府消化器病センター
防府胃腸病院
趣味:書道
好きな言葉:しあわせは　いつも
じぶんのこころが　きめる
ひとこと:学ぶ姿勢を忘れずに、日々精進していきたいと思います。よろしくお願いします。

ふりがな　おがわ　ゆうか
氏名:小川　優佳

血液型:AB 型
出身大学:武庫川女子大学
（平成 27 年度卒）

勤め先:
山口県立総合医療センター
趣味:旅行、物を作ること
好きな言葉:やればできる‼
ひとこと:まだまだ未熟者ですが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

ふりがな　ふかだ　よしひろ
氏名:深田　良裕

血液型:A 型
出身大学:明治薬科大学
（平成 8 年度卒）
勤め先:山内薬局
趣味:スノーボード
好きな言葉:尺山寸水
ひとこと:よろしくお願いいたします

― 会員の動き ―

◇入会◇
磯村　奈帆子 防府胃腸病院
祢津　勇樹　フェリース薬局松崎店
三宅　小織　無所属
廣谷　香織　無所属
岡村　有希　無所属
山内　秀威　山内薬局

◇退会◇
豊嶋　由理恵　　まりふ薬局

― 生涯教育 ―

○ 8月4日（木）　出席者数：18名（薬剤師数18名　内会員数18名）　操薬トーク in 防府
JPALSコード「35-2016-0100-101」
「最新の医薬関連情報（6～7月度）と症状からみる病態生理（緩和医療Part2)」
広島大学大学院医歯薬学総合研究科　教授　森川　則文　先生

○ 8月26日（金）　出席者数：49名(内薬剤師数：34名　内会員数　27名)
防府医師会共催学術講演会
JPALSコード「35-2016-0101-101」
「腎性貧血治療薬ネスプについて」　協和発酵キリン株式会社
「ＣＫＤ診療の実臨床と最近の進歩」
東京女子医科大学　血液浄化療法科　教授　土谷　健　先生

○ 9月8日（木）　出席者数：18名(内薬剤師数：17名　内会員数　17名)
防府医療圏生涯学習研修会
JPALSコード「35-2016-0107-101」
「ジェネリック医薬品について」
東和薬品株式会社　営業本部営業七部　広島エリアマネージャー　盆子原　豊　先生
「平成28年診療報酬における疑義解釈と各種加算の算定について」
東和薬品株式会社　営業本部医薬政策総括部　課長補佐　神藤　貴義　先生

○ 9月30日（金）　出席者数：60名（内薬剤師数40名　内会員数33名）防府医師会共催学術講演会
JPALSコード「35-2016-0108-101」
「ファイザーの点眼薬ラインアップについて」　ファイザー株式会社
「眼科医でない医師のための眼科診療～緑内障を考える～」
山口大学大学院医学系研究科　眼科学　助教　寺西慎一郎　先生

○ 10月8日（土）出席者数：11名（薬剤師数11名　内会員数11名）　操薬トーク in 防府
JPALSコード「35-2016-0142-101」
「指先血液採取による健康チェック研修（1回目)」
広島大学大学院　医歯薬保健学研究院　教授　森川　則文　先生

○ 10月11日（火）　出席者数：30名（薬剤師数30名　内会員数30名）
第６回保険薬局協議会（共催）
JPALSコード「35-2016-0146-101」
「肺炎予防について」　ＭＳＤ株式会社　松林　舞 先生
「最近の予防接種の話題～インフルエンザワクチンを中心に～」
武田薬品工業株式会社ワクチン営業部　花本　央義　先生

○ 10月13日（木）出席者数：15名（薬剤師数14名　内会員数14名）
操薬トーク in 防府
JPALSコード「35-2016-0143-101」
「指先血液採取による健康チェック研修（2回目)」
広島大学大学院　医歯薬保健学研究院　教授　森川　則文　先生

○ 10 月 19 日（水）　出席者数：51 名（薬剤師数 28 名　内会員数 28 名）

第１７回防府市　呼吸と心臓を勉強する会

JPALS コード「35-2016-0144-101」

「テネリア錠に関する情報提供」　第一三共株式会社

「慢性腎臓病の管理（食事療法）について」　医療法人光恵会　光山医院　作村　俊浩　先生

「高齢者の Total Management～フレイルにならないために～」

東京大学大学院医学系研究科　加齢医学（老年病科）　教授　秋下　雅弘　先生

○ 10 月 28 日（金）　出席者数：65 名（薬剤師数 47 名　内会員数 40 名）

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2016-0145-101」

「当院におけるトルバプタンの使用経験からの考察」

山口県立総合医療センター　循環器内科診療部長　池田　安宏　先生

「慢性心不全の管理にトルバプタンが出来ること」

安城更正病院循環器内科　循環器診療部長　植村　祐介　先生

○ 11 月 8 日（火）　出席者数：30 名（薬剤師数 30 名　内会員数 30 名）

第７回保険薬局協議会（共催）

JPALS コード「35-2016-0171-101」

「ノロウイルスの感染予防と対策」　杏林製薬株式会社　庄司　浩平　先生

○ 11 月 10 日（木）　出席者数：23 名(内薬剤師数：22 名　内会員数　22 名)

防府医療圏生涯学習研修会

JPALS コード「35-2016-0172-101」

「抗アレルギー剤関連情報」　Meiji　Seika ファーマ株式会社

「耳鼻咽喉科における抗アレルギー剤の使い方」

山口県立総合医療センター　耳鼻咽喉科　診療部長　竹本　剛　先生

○ 11 月 17 日（木）　出席者数：26 名（薬剤師数 23 名　内会員数 23 名）

第２回「HOFU－実践 Chemo 塾～見て・さわって・学ぼう!!～

JPALS コード「35-2016-0173-101」

「抗がん剤による口内炎対策の基礎」

株式会社アステム　ガンＭＣ　山口県担当　竹本　利彰　先生

「がん患者様の口腔ケア」

山口県立総合医療センター　歯科衛生士　主任　古谷　寿恵　先生

○ 11 月 25 日（金）　出席者数：58 名（薬剤師数 28 名　内会員数 20 名）

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2016-0174-101」

「SGLT2 阻害薬の使用経験」

山口大学医学部付属病院　第三内科　助教　近藤　学　先生

「糖尿病腎症をどう見るか」

金沢医科大学医学部　糖尿病・内分泌内科学　教授　古家　大祐　先生

― *秋のゴルフコンペ報告* ―

～防府薬剤師会ゴルフコンペ＆防府三師会親睦ゴルフコンペ～

防府栄町薬局　椎木 康之

2016 年、秋に行われた二つのゴルフコンペについて報告させていただきます。

まず、2016 年 9 月 22 日（木）（秋分の日）に第 21 回防府薬剤師会ゴルフコンペが、泉水原ゴルフクラブで開催されました。当日は朝のうち少し雨に降られましたが、大きく天候が崩れることはなく無事 18 ホールまわることができました。

栄えある優勝は、河鍋武史先生（フェアリー薬局）でした。スコアはグロス 82（OUT ： 39, IN ： 43）で、ベストグロス賞も併せて持って行かれました。河鍋先生はベスグロの常連ですが、意外なことに優勝は今回が初めてとのこと。おめでとうございます。今回の参加者は、総勢 8 名と少し寂しいものでした。次回はみなさん、ぜひとも奮っての御参加、よろしくお願いします。

それからもうひとつ、2016 年 11 月 3 日（木）（文化の日）には、第 15 回防府三師会親睦ゴルフコンペが、宇部 72 カントリークラブ阿知須コースで今年は歯科医師会さんの幹事により開催されました。こちらは天候には恵まれましたが、グリーンが非常に速く、参加者 21 名中、100 を切った方がたったの 3 名とスコアは大荒れでした。そのような中で医師会の山本一成先生が、グロス 94（OUT：47, IN：47）で優勝とベストグロス賞を獲得されました。薬剤師会では、河鍋武史先生（フェアリー薬局）が準優勝、松村秀樹先生（松崎町薬局）が 4 位、三好生典先生（総合医療センター）が 5 位と健闘されました。夜の懇親会は今年も大いに盛り上がりました。特に今年から三師会各会長のご厚意により、優勝者には優勝カップが贈呈されることになりました。ぜひとも次回はこの優勝カップを我が薬剤師会に持って帰りたいと思います。この三師会ゴルフコンペ、来年は薬剤会が幹事です。こちらのコンペへのご参加もお待ちしております。

「ゴルフ好きなら少しぐらい暑くても集まってくれるだろう」ということで今回は真夏の開催となりましたが、セッティングした幹事（椎木）自身がかなりバテてしまいました。次回はもう少し気候が良いときにやりたいですが、春や秋は行事が目白押しでなかなかうまく日程がとれません。ということでまた真夏か真冬になるかもしれませんが、みなさん、集まってください。よろしくお願いします。これまで参加されたことのない方の参加もお待ちしております。

－　*ほうふ健康フォーラム 2016 に参加して*　－

山口県立総合医療センター　　安村　美紀

10 月 23 日（日）、第 11 回市民公開講座ほうふ健康フォーラム 2016 がデザインプラザ HOFU で開催されました。12 時からの 1 時間は催し物があり、体験コーナー（血圧測定、ストレスチェック、指先穿刺による血液検査など）、医師・歯科医師・薬剤師による健康相談、小中学生の歯科関連作品の展示コーナーなどがありました。血液検査のコーナーは特に人気で行列が出来ており、途中で受付を終了するほどでした。私も始まる前に初めて体験させていただいたのですが、少量の血液で簡単に検査結果を知ることができました。指先穿刺で簡単に検査が出来ることや、指をのせるだけでヘモグロビン値が測定できる機械があることなど、初めて知ることがたくさんありました。

私は健康相談の受付を担当することになったのですが、想像していたよりも多くの方が相談に来られ、普段病院などでは聞きにくいようなことも聞けるいい機会になっていると感じました。

13 時からは快適睡眠で健康づくりというテーマに沿って講演が始まりました。講演中は全て手話通訳・要約筆記が用意されていました。1 つ目の講演は、佐々生康宏先生の「そのいびき、ちょっとまずいかも！？」でした。睡眠時無呼吸症候群についての話をとても面白く、分かりやすく話してくださいました。顎の角度が大きい人は睡眠時無呼吸症候群の可能性があるかもしれないそうです。2 つ目の講演が始まるまでの休憩時間には健康運動指導士の重田和弘先生による、睡眠を促す運動をしてみましょう！という話があり、椅子に座ったままでもできる運動を実際に体験しました。ほぼ満員だった会場が一体となり、とても盛り上がりました。そして 2 つ目の講演、土屋智先生の「脳の老化と睡眠の老化～レストレスレッグス症候群を中心に～」が始まりました。睡眠障害の時に使用する薬に関する話もあり、一般の方にも分かりやすいようお話ししてくださいました。

最後に健康づくりに向けた共同宣言をしてフォーラムは終了となりました。

この会場で開催されたのは今回が初めてだったそうですが、準備から片付けまでを手伝うことでとても勉強になり、また、今まであまりお話しする機会のなかった薬局薬剤師の先生方ともお話しすることができたので、参加してよかったと思いました。

― 学校薬剤師の地域活動 ―

防府学校薬剤師委員会委員長　山内 裕之

皆様ご承知の通り、今かかりつけ薬剤師の要件として地域活動の実績が求められています。そこで今日は学校薬剤師の地域活動の様子をお知らせしたいと思います。

プールの水質検査や空気の検査など従来の学校点検だけでなく、最近は薬物乱用ダメ・ゼッタイ講義やたばこの健康被害に関する講義など、未来のある生徒にどんどん発信する仕事が増えてきております。特にこの「薬物乱用ダメ・ゼッタイ講義」は山口県内の小・中学校で毎年 100％実施されており、他県で100％実施されているところはなく、もちろん全国1位の実施率です。ただ、すべて学校薬剤師が講義しているわけではありません。警察や保健所の方にもお願いしての 100％実施ですが、薬物事件のニュースは後を絶たないので、「薬物乱用ダメ・ゼッタイ講義」は学校薬剤師が専門家として、これからもしっかりやっていかなければならない分野だと思います。

このようにだんだん学校で講義を重ねていくと、いろいろ講義依頼が来るようになり、教師向けに「アルコールの害」と題して飲酒運転撲滅の教員研修会を行ったり、近年食物アレルギーの問題が注目されている中、エピペン®の使い方の研修を行ったり、他にも「湿潤療法について知りたい」というような質問が生徒や親からあれば授業参観で講演したりなど、様々な要望に今学校薬剤師が応えております。

次に学校を飛び出して行った地域活動について報告します。先ほど薬物乱用ダメ・ゼッタイ講義の話をしましたが、6 月に薬物乱用撲滅キャンペーンの街頭活動をイオン防府（旧 SATY）にて行いました。毎年山口県健康福祉センター主催で行われているイベントですが、今年もライオンズクラブの方々や高校生と一緒に、募金をお願いしたり風船やティッシュを配って、薬物乱用撲滅の啓蒙活動をしました。ただ、メインは高校生なので我々はあまり目立てませんでしたが、いつか防府学校薬剤師委員会主催で、風船やティッシュを配るだけでなく、薬物乱用の怖さ・意味のなさを伝えるイベントが出来ないかとも考えております。

また、10 月 27 日（木）には、以前この清流でも紹介した防府学校保健研修会が開催され、「授業支援うけおいます。上手に使って、学校薬剤師。」という演題で松浦泰子先生に学校医・校長・教員・PTAといった方々の前で講演をして頂きました。学校薬剤師は1校につき一人なので、なかなか他の学校薬剤師の仕事ぶりを見ることができないのですが、この講演で、松浦先生が研修中の薬学生も動員して寸劇を交えながら生徒に教えたりしていることが分かり、その精力的な活動ぶりには頭が下がりました。来年も現役学校薬剤師だけでなく学校薬剤師に興味のある方も是非聞きにきてもらいたいです。

このように学校薬剤師の活動は自然と地域医療・市民の健康に充分寄与しています。あとは防府三師会主催の「ほうふ健康フォーラム」に参加すればバッチリだと思うので、忙しくはなりますが皆さま一緒に頑張りましょう。いつでも声をかけてください。

■編集後記■

あけましておめでとうございます。昨年はいかがな年だったでしょうか？世間では覚せい剤、麻薬、大麻など違法薬物にかかわる報道が多く、これから更に薬剤師としての啓発活動が必要だと思われます。薬局では「かかりつけ薬剤師」「健康サポート薬局」、病院では「病棟での活動」などに力を入れて取り組まれていることと思いますが、広報委員会としても各施設の取り組みを紹介していきながら、全体のスキルアップに寄与していければと思います。それでは本年もよろしくお願いいたします。

(一社)防府薬剤師会　広報委員会

（白野　陽正、松井　都世子、渡邊　太朗、佐藤　洋平、青谷　元喜）

発行所

〒747－0028　防府市東松崎町 4－23

(一社)防府薬剤師会

TEL:0835－38－4360

FAX:0835－38－4371

URL:http://hoyaku.jp/

e-mail:info@hoyaku.jp

発行編集人　松浦　紘明

印刷所　　瞬報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷 2410

TEL:083-972-5678

無断複写、転載を禁じます。